

# 「広報すえ」が600号を迎えました！

「広報すえ」の歴史を振り返ります。



町道須恵・井尻線および、須恵第一小学校新築工事の竣工式が開催されたことなどを掲載しています。また、昭和47年5月1日当時の人口は1万2895人、世帯数3286戸でした。

**創刊号 昭和34年7月1日**

昭和34年7月1日、小新聞「須恵」として発刊。

当時の原田昇町長の所懐所見や国民健康保険の説明、県営道路の工事に関することなどを掲載しています。

**72号 昭和47年6月1日**

見出しが「須恵」から「町報すえ」に変更されました。

**93号 昭和49年7月1日**

見出しの「町報すえ」の前に町章を掲載するようになりました。

昭和49年7月10日に歴史民俗資料館



が開館したことなどを掲載しています。



**100号 昭和30年3月30日**

昭和50年7月1日に広報室を新設したことを掲載しています。当時の広報室では、町報のほか老人福祉の8ミリ映画を作成していました。



**145号 昭和54年6月1日**



広報紙の様式をA3版からA4版冊子に変更して、表紙は写真になりました。見出しは「広報すえ」になっています。

**275号 平成2年4月1日**

広報は、274号までは1色刷りでした。



たが、275号から2色刷りになりました。まちの話題や各課からのお知らせ、外部機関からのお知らせなど多種多様な情報を掲載しています。

**300号 平成2年1月1日**

表紙は、画家の岩田恒介さんに描いていただいた須恵町の「ふるさと百景」を、カラーで掲載しています。



**402号 平成18年1月1日**

表紙に、カラー写真を掲載するようになりました。



**500号 平成28年6月1日**  
掲載内容のレイアウト変更や、カラーページの増加などを行いました。



「広報すえ」は、創刊から58年が経ち、600号を迎えました。広報紙は、町の政策や町民の皆さんにお伝えしたい情報を分かりやすくお知らせする役目があります。

しかし、「一方的に「伝える」だけではなく、発信した情報が町民の皆さんに正確に「伝わる」ことが大切です。皆さんに「読んでもらえる広報紙」になるためには、お知らせを提供しながら皆さんと双方向性のある関係を築いていくことが大事です。

そこで、お知らせは分かりやすい文章に、イメージを伝えるために写真やイラストを使用して、より親しみのある紙面づくりを心掛けています。

「広報すえ」は、行政と町民の皆さんをつなぐパイプ役です。皆さんに読みやすく、必要とされる「広報すえ」であり続けたいと思っています。

これからも「広報すえ」をよろしく願っています。

※ホームページ「<https://www.town.sue.fukuoka.jp/site/kouhou/>」から過去の広報を閲覧になることができます。